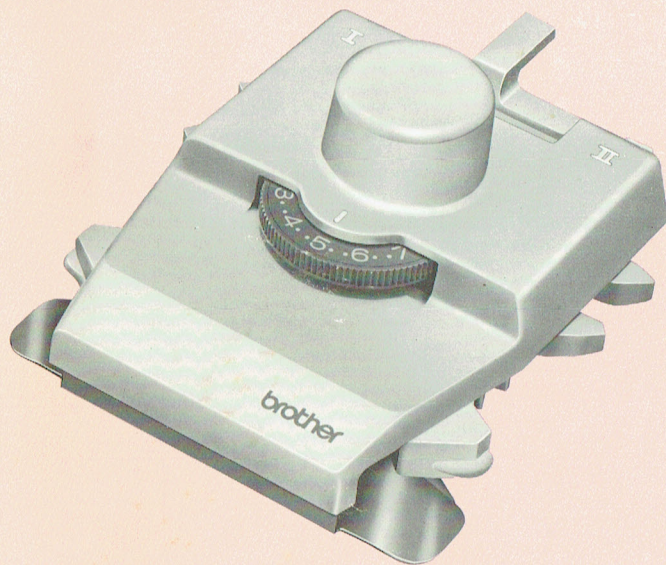


brother

# アーガイルキャリジ

## 取扱説明書



お買い上げまことにありがとうございます。この製品の  
すばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただく  
ために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みくだ  
さい。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

# 目次

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 各部の名称とはたらき                | 1   |
| 作動レバーと<br>リーダーレバーの使い方     | 2   |
| 編針の位置                     | 3   |
| 編んでいる途中で<br>キャリジが動かなくなったら | 3   |
| アーガイル編の編み方                | 4~7 |
| 使用上のご注意                   | 8   |
| 作品を編むために                  | 8   |
| 手入れのしかた                   | 9   |



# 各部の名称とはたらき

キャリジはずしツマミ

編んでいる途中でアーガイルキャリジを、本体からはずすときに使います。  
(先端部分でKH-811・810・821・820・831・830・851・850・880・  
(890の段数計とニットリーダーを作動させます。)

ハンドル

編目ダイヤル

おもり 10個

編糸を通して使います。  
編糸の引きが等しくなり、編地  
が美しく仕上がります。

糸とおし

おもりに編糸を通すときに使います。

作動レバー




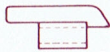

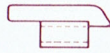
KH-871・881・891・910・920を使用する場合に取り付けます。  
(KH-871・881・891のニットリーダーと段数計を作動させます。)  
(KH-910・920の段数計を作動させます。)

リーダーレバー

KH-910・920を使用する場合に取り付けます。  
(ニットリーダーを作動させます。)

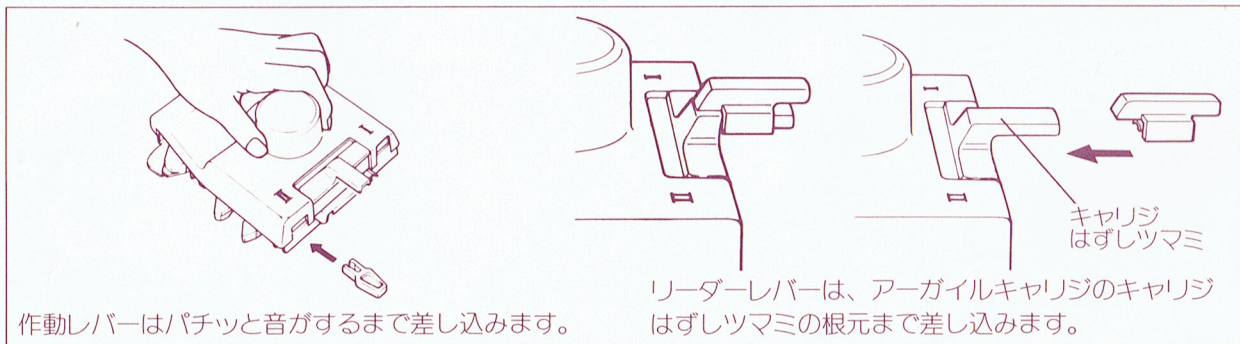
# 作動レバーとリーダーレバーの使い方

●作動レバーは、段数計とニットリーダーを作動させるために使います。ご使用の機種により下記の表に従って取り付けてください。

| 機 種  | 作 動 レ バ ー   | リ ー ダ ー レ バ ー   |
|--|---|---|
| KH-811・810・821・820<br>831・830・851・850<br>880・890 |  × 使用しない。                    |  × 使用しない。                     |
| KH-871・881・891                                   |  → II アーガイルキャリジのIIの穴に差し込みます。 |  × 使用しない。                     |
| KH-910・920                                       |  → I アーガイルキャリジのIの穴に差し込みます。   |  アーガイルキャリジのキャリジは必ずツマミに差し込みます。 |

## ●レバーの取り付け方

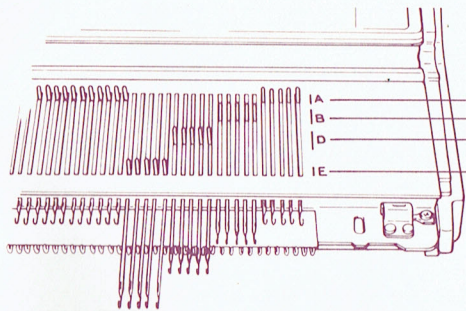
アーガイルキャリジを平らなテーブルの上に置き、手で支えながらまっすぐに差し込みます。





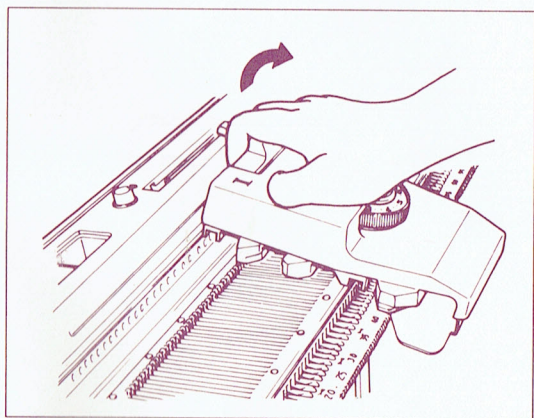
# 編針の位置

- 編針の位置は、Kキャラジで編む位置とは異なります。



- A キャラジを操作しても編めません。
- B この位置に置かれた編針は、キャラジを操作するとD位置にそろいます。
- D 平編が編めます。キャラジを操作すると編針はつねにこの位置にそろいます。
- E 引き返し編、またはキャラジをカラ送りさせるときに編針をこの位置にそろえます。

## 編んでいる途中でキャラジが動かなくなったら……



- こんなときには無理に動かさず、キャラジをミゾ板からはずして編み直します。

### 〈キャラジのはずし方〉

キャラジはずしツマミを手前に引き、キャラジのうしろ側をかるく浮き上げらせながら手前にはずします。

# アーガイル編の編み方

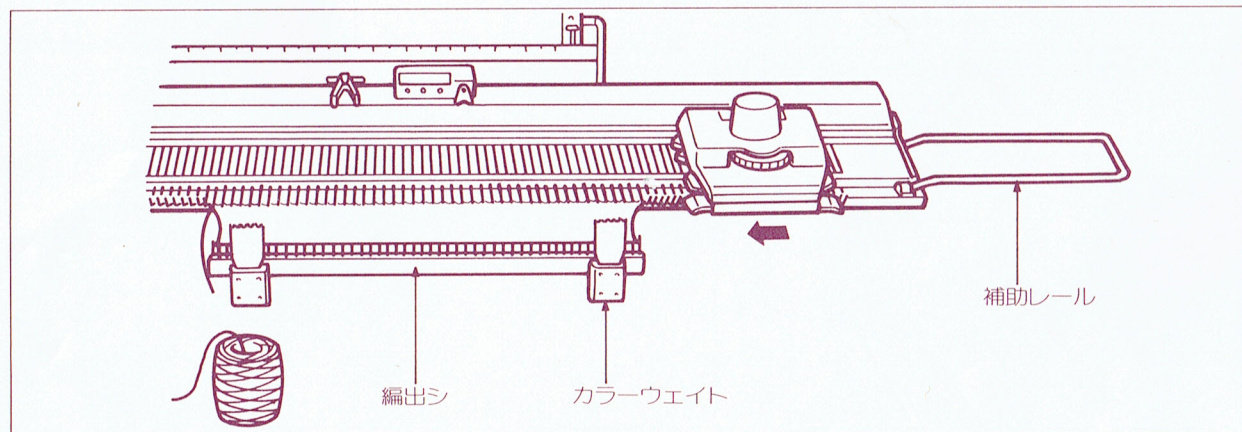
- アーガイルキャリジは、アーガイル編が簡単に編める専用キャリジで、編地の裏に編糸が渡らない多色の編み込み模様を編むことができます。

## 〈アーガイル編を編む前の準備〉

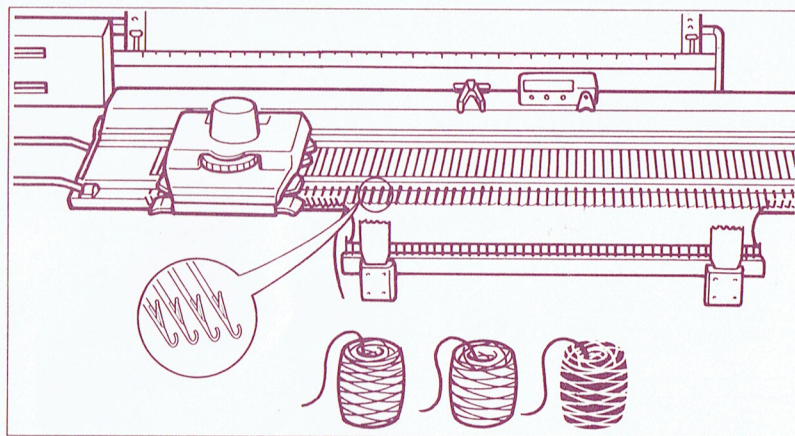
- (1)Kキャリジで必要な目数で編み出しを行い、アーガイル模様を編む位置まで平編を編みます。
- (2)編糸をKキャリジの糸口と糸取装置からはずし、編糸を切って足元に置きます。
- (3)アーガイル編に必要な地糸と、配色糸を交換する回数分だけ編地の下にそろえます。
- (4)Kキャリジを本体からはずします。

## 〈アーガイル編の編み方〉

- (1)ご使用の機種に合わせて、アーガイルキャリジに作動レバーを取り付けます。(2ページ参照)
- (2)アーガイルキャリジを糸端と反対側のミゾ板の上にセットします。(アーガイルキャリジはミゾ板の端からはめます。編地幅が広い場合には補助レールを取り付けてください。)
- (3)Kキャリジで編むときと同様に、編目ダイヤルを合わせます。
- (4)編地の両端にカラーウェイトをかけます。(カラーウェイトは20段ごとにかける直します。)

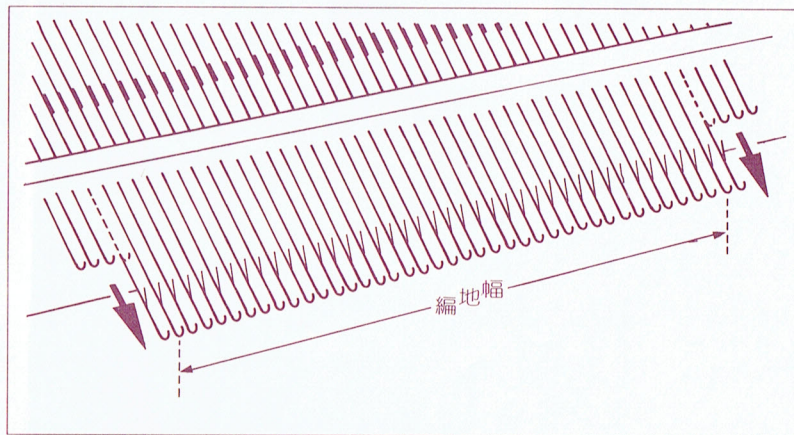






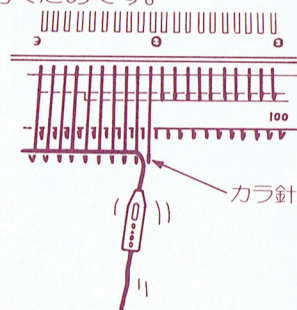
(5)アーガイルキャリジを1段動かします。B位置にあった編針はD位置にそろいます。すべての編針のベラが開いているか確認してください。ベラが閉じていると編目が落ちます。

キャリジを1段動かしたため、段数計とニットリーダーを1段もどします。



(6)編地の両端の隣のカラ針をD位置に出します。

※キャリジの操作によっておもりが編針の上に引き上げられるのを防ぐためです。



## 編糸の通し方



並太糸



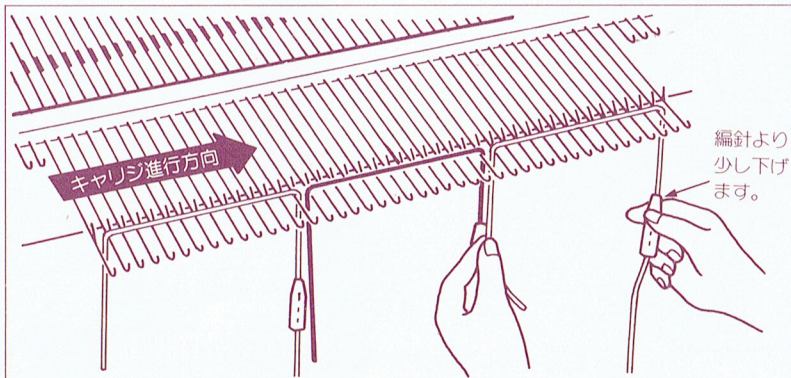
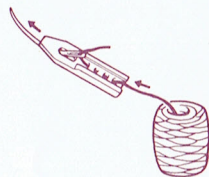
中細糸



細糸

(7)編糸をおもりに通します。

※左図のように編糸の太さに応じて編糸を通す小穴を選び、糸とおしで通します。



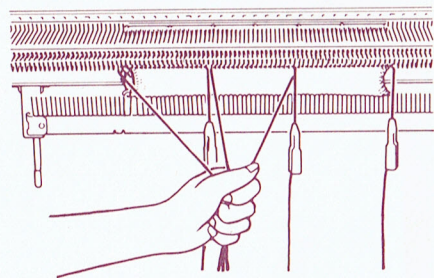
●アーガイル編は編糸を、編針に渡して編みますのでベラが閉じていると、編目がおちてしまいます。もしベラが閉じている場合には、ウツシ等で開けてから編糸を渡します。



(8)アーガイル編の1段目を編みます。

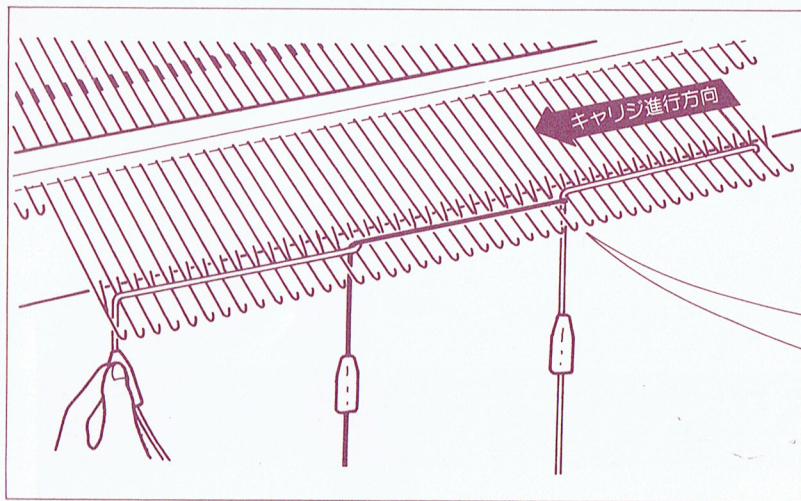
左図のようにキャリジ側から順に、編糸を編針に渡します。

※両端の編針には、編糸を渡さないよう注意します。

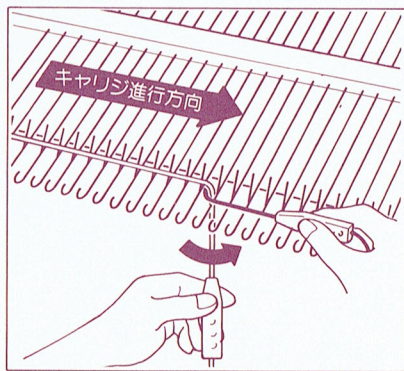
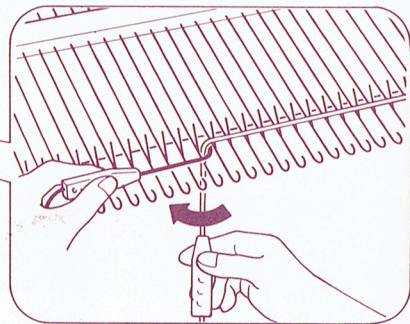


渡した編糸がずれないように糸端を手でかく持ち、アーガイルキャリジをゆっくり動かします。



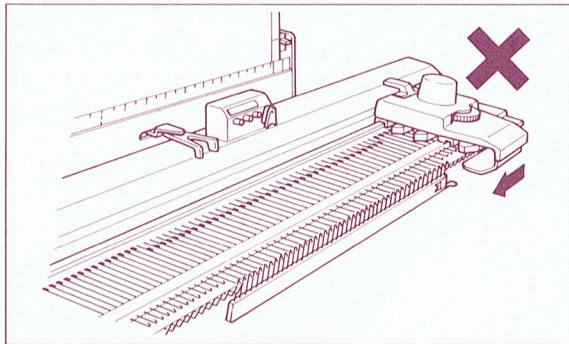


(9)2段目を編みます。キャリジ側からベラの開いている編針に、編糸を交差させながら渡してキャリジを動かします。3段目からも同様に編み進みます。



※キャリジの進行方向が逆の場合は、左図のように交差させてください。

# 使用上のご注意



- 編針を傷めるおそれがありますので、編糸なしでアーガイルキャリジを操作しないでください。
- 編み出しをかけたまま、アーガイルキャリジを動かさないでください。

## 作品を編むために

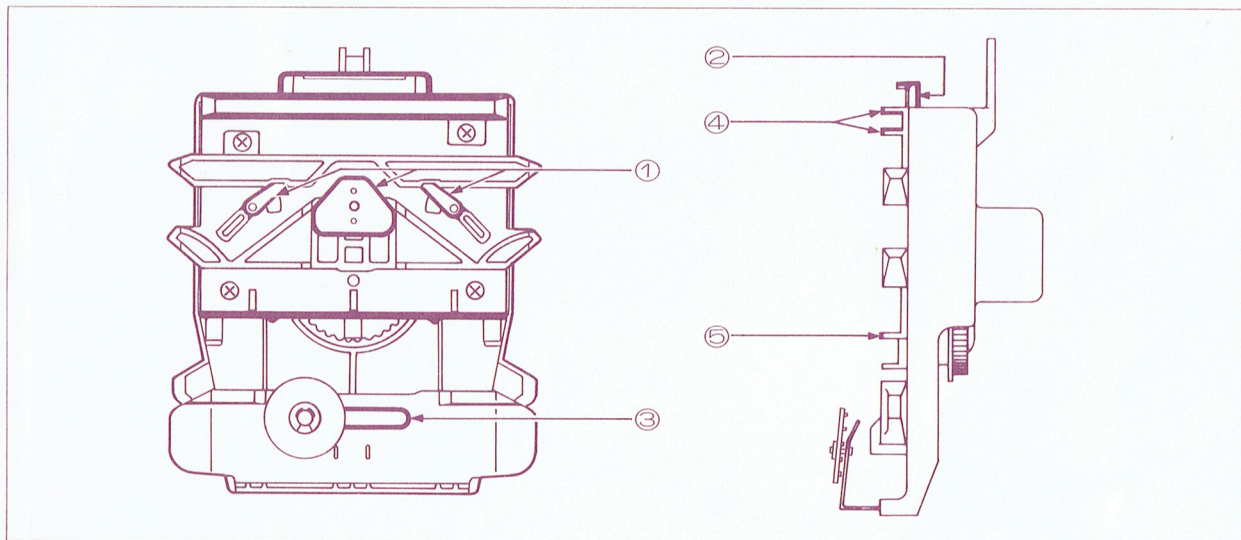
- アーガイルキャリジで編んだ編目の大きさは、Kキャリジの編目ダイヤルとほぼ同じですが、糸取装置を使用しないので、ゲージを編むときはアーガイルキャリジとKキャリジのゲージの差を確認してください。
- アーガイル編の図案の大きさ、または模様の位置を決めるときは、ニットリーダーを使用するグラフィ用紙に模様を画いて決めます。



# 手入れのしかた

- キャリジの操作が重いときや、しماうときはキャリジのほこりやゴミを取り除いてから、金属部分（太い線の①～③のところ）および樹脂部分（④～⑤のところ）に手入れ油を塗ってください。

※ 編機の手入れ油は、布にしみ込ませてご使用ください。



## お客様相談コーナー

|       |                       |                  |
|-------|-----------------------|------------------|
| 札幌支店  | 〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2  | 電話(011) 261-6631 |
| 仙台支店  | 〒980 仙台市一番町2-3-10     | 電話(0222) 27-8877 |
| 北関東支店 | 〒330 大宮市仲町1丁目124-2    | 電話(0486) 42-1271 |
| 東京支社  | 〒104 東京都中央区京橋3-3-8    | 電話(03) 273-0231  |
| 横浜支店  | 〒220 横浜市西区楠町9-6       | 電話(045) 312-8631 |
| 新潟支店  | 〒950 新潟市東大通1-1-1      | 電話(0252) 47-7101 |
| 静岡支店  | 〒420 静岡市御幸町9-1        | 電話(0542) 54-2601 |
| 名古屋支店 | 〒460 名古屋市中区栄3-27-18   | 電話(052) 261-3271 |
| 京都支店  | 〒600 京都市下京区四条通り御幸町角   | 電話(075) 255-2481 |
| 大阪支店  | 〒542 大阪市南区心斎橋筋1-1     | 電話(06) 252-1797  |
| 広島支店  | 〒730 広島市中区胡町4-27      | 電話(082) 241-9236 |
| 高松支店  | 〒760 高松市寿町1-1-5       | 電話(0878) 51-7341 |
| 福岡支店  | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1 | 電話(092) 481-2671 |
| 熊本支店  | 〒860 熊本市城東町2-20       | 電話(096) 355-7151 |
| 沖縄出張所 | 〒900 那覇市泊3-1-2        | 電話(0988) 68-4511 |

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

\*上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

**ブラザー工業株式会社**

取扱店

〒467 名古屋市瑞穂区堀田通 9-35

電話 (052) 824-2511(代)